



2023.1.13<計1枚>

報道機関 各位

京都橘大学広報課

**女性史研究の第一人者・田端泰子本学名誉教授による
学術講演会を開催**

開催日時:2023年1月16日(月)13:20~15:00

開催場所:京都橘大学 アカデミックリンクス4階

京都橘大学の田端泰子名誉教授(本学元学長)が、1月16日(月)、本学にて学術講演会を開催します。

これは、文学部歴史学科の学術講演会として実施するもので、歴史学科1~4回生の学生が受講します。講演会のテーマは、「大坂落城に遭遇した二人のおきく」です。大坂城の落城時に1000人ほどいた女房のうち、落城時無事に京都に逃げきった「おきく」と、淀殿、豊臣秀頼らと共に自害した「於菊(おきく)」という2人のおきくについて語ります。大坂夏の陣前後の大坂城の様相や、そこで仕事に励んでいた女房の姿、京都へ逃れることができた理由などを紐解きます。歴史を学ぶ学生にとって、江戸時代における女性の生き方や社会的な役割にふれ、より深く学ぶことの楽しさを感じてもらおう契機となればと考えています。

【田端名誉教授の略歴】

1964年に京都大学文学部を卒業。1986年に『中世村落の構造と領主制』にて京都大学文学博士を取得。1980年に橘女子大学(※)の教授となり、2004年~2010年には京都橘女子大学(※)の学長を務め、2011年に本学より、名誉教授の称号を授与。また、中世後期の村落構造に関する研究のほか、女性史研究のパイオニアでもあり、中世の女性が果たした役割や地位の解明に取り組む。2011年~2017年に京都市男女共同参画審議会会長を務め、2021年には「令和3年度京都市文化功労者」として表彰されるなど、京都市市政にも大きく貢献した。

※いずれも現・京都橘大学

記

●学術講演会の概要**開催日時:2023年1月16日(月)13:20~15:00****開催場所:京都橘大学 アカデミックリンクス4階 H402教室**

講演者:田端泰子(本学名誉教授・元学長)

講演テーマ:大坂落城に遭遇した二人のおきく

※本講演会は、コロナ感染症対策のため、聴講者は学内関係者に限らせていただきます。

以上

●取材・内容についてのお問い合わせ先

京都橘大学広報課 担当:花立 TEL.075-574-4112